

～2012年3月10日(土)生放送の内容です～



◇キズナックス「ライフジャケット」が津波に有効か？

- ・ 結論からもうしまして、誰にも分からぬと思います。キズナックスがすべての津波に対し、100%有効かどうかは分かりませんが、少なくとも生き残るための手助けができる商品だと自負しております。
- ・ なぜかと言えば、地震の規模、場所、津波の高さ、海岸線からの距離、勾配、がれき・障害物の多さ、自身が位置した建物立地条件など色々な条件の違いで一概に判断できるものではありません。

◇キズナックスを開発した経緯は？

- ・ 弊社は、H23年の3月11日に起きた東日本大地震後、2回のボランティア活動を通じて津波から生還した方2名（漁師）から、ガレキにつかりながらでも浮くことができたから助かったという体験談を聞き、この商品を思いつきました。

◇被災地に入ったときの第一印象は？

- ・ 被災された方々には申し訳ないですが、最初に被災地に入って思ったのは、地獄絵図の光景で、言葉がありませんでした。タイヤがついていない車もあり津波のすさまじさを目撃しました。

◇東海大地震に備えて？

- ・ もし三連動地震（東海・南海・東南海）でも起きたら「助かりっこない」とか、「何とかなるさ」と全くの楽天家の方、人の感じ方も様々ですが、自然災害という困難に立ち向かい危機管理意識を持ち対策予防し1人でも多くの命を救いたいと考えています。

◇キズナックスの狙いは？

- ・ 少なくとも、津波対策としてライフジャケット（特に海岸よりの方）を用意されている方は、全く用意されていない方と比べ危機管理意識が高くなっていて、いざという時の行動に差が出て助かる確率も違ってくると思います。
- ・ 三連動地震が沖合で起きた場合、津波到達時間は5~10分だと言われています。
- ・ いろいろと持つて逃げる時間はありません。
- ・ 生命維持に必要な最低限の食料と連絡や情報を得られるもの大切な思い出のものなど、どうしても欠かせないものだけもって、安全な高台（避難所）まで全力疾走で逃げるために開発した商品です。

◇最後に一言？

- ・ 弊社は、この商品を通じ、各人の防災意識を高め、一人でも多くの人を助けたいという願いを込めこの商品を提案しております。
- ・ また、弊社が提案する防災用品は、検証を行い本当に使えるもの（よい商品）を選定し、お客様に提案することをお約束いたします。